学校番号	T3009

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	電気実習②	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第2種電気工事士実技問題13問を各問題について時間内（40分以内）に完成できる事を目標に学習をする。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
基本的な器具への取り付けや電線同士の接続ができ、正しい図記号を使って正確に複線図を作成できる。
【思考力、判断力、表現力等】
第二種電気工事士試験の候補問題を時間内に正しく、思考、判断し、図面通りに正しく配線することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら電気工事の技術を向上させようとする、態度を身につけられている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種工具の扱い方、複線図の書き方と各機器の図記号、各種機器と電線の正しい接続方法、リングスリーブ、差し込み型コネクタ、アウトレットボックス等の正しい使用方法を理解できている。	候補問題である13課題の正しく見やすい複線図が作成でき、欠陥なく40分以内に課題を配線できている。	実習課題と実習レポートを意欲的に作成しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	年度	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 後期	工 ①電気工事の技術概要②課題理解・複線図③実技の基本作業	・第２種電気工事士 実技試験問題13問 反復実習	a:各種工具の扱い方、複線図の書き方と各機器の図記号、各種機器と電線の正しい接続方法、リングスリーブ、差し込み型コネクタ、アウトレットボックス等の正しい使用方法を理解できている。 b:候補問題である13課題の正しく見やすい複線図が作成でき、欠陥なく40分以内に課題を配線できている。 c:実習課題と実習レポートを意欲的に作成しようとしている。	実習課題 レポート	実習課題 レポート	実習課題 レポート 実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度